**第２学年１組　算数科学習指導案**

**1 題材名**　形を　しらべよう

**2 本時の学習**（6／11時）

　（1）目標

　　　○直角や方眼をもとに、長方形や正方形をかくことができる。

（数量や図形に対する技能）

（2）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | ○指導上の留意点◆評価 | 時間 |
| 1 前回の学習を振り返る。  C1: かどはみんな直角だった。  C2: 長さがみんな同じ。  C3: 長方形は向かい合う辺の長さが同じ。  C4: 長方形もかどはみんな直角。  めあて　いろいろな長方形と正方形をかこう。  2　練習問題5に全員で取り組み、確認する。  C1: かどは全部直角でないといけない。  C2: 直線でないといけないから、ものさしを使おう。  C3: 三角定規を使って、直角を調べよう。  3 練習問題に取り組み、全員で確認する。  C1: かどが全部直角でないといけない。  C2: 辺の長さが全部同じでないといけない。  4 練習問題2に取り組み、発表する。  C1: 長方形を斜めにしても直角になる。  C2: 一番大きい正方形の辺の長さは○○cmだ。  5 次回の予告をする。 | ○紙を折る活動をしたことを振り返り、正方形という言葉を思い出すようにする。  ○正方形の紙を提示して、特徴を思い出すようにする。  ○三角定規を使って、直角を確かめることを思い出すようにする。  ○長方形と正方形の紙を提示して、辺の長さと直角を実際に確認するようにする。  ○問題文を音読するようにする。  ○長方形の定義を再度思い出すようにする。  ○方眼の書かれたプリントを配布し、全員で一斉に取り組み、長方形を完成させるようにする。  ○最初に点を打つ、目盛りのない方で線を引くなど、ものさしの使い方を思い出し、全員で共有するようにする。  ○直線で丁寧に書くことを確認するようにする。  ○最初に黒板の模造紙でかき方を示すようにする。  ○教科書に沿って、たての辺から書くことを確認するようにする。  ○マス目の数え方を示すようにする。  ○友達同士で、長方形の辺の長さが正しいかどうか、直角になっているかどうかをものさしと三角定規を使って確認するようにする。  ○正方形の定義を思い出すようにする。  ○長方形との違いを思い出して、どのようにかけばよいか考えるようにする。  ○長方形をかいた時を思い出して、同じ手順でかくようにする。  ○机間巡視をして、活動が停滞している児童にかき方を指導するようにする。  ○辺の長さが同じかどうか、直角になっているかどうかを三角定規を使って確認するようにする。  ○黒板に模造紙を用意し、児童が作図するようにする。  ○自分のかいた正方形が正しいかどうか、全員で、辺の長さと直角を確認するようにする。  ○方眼の書かれたプリントを配布する。  ○丁寧にかくことをもう一度確認するようにする。  ○向きや形を工夫した長方形と正方形が書けるようにする。  ○定義を思い出すよう声をかけ、三角定規とものさしを用いて、正しい図形が書けているかを確認するようにする。  ○自分で決めた辺の長さを書いておくようにする。  ○大きな図形や小さな図形、いろいろな向きの形が書けた児童の図を書画カメラに写して紹介する。  ○早く終わった児童には2枚目のプリントを配布する。  ○向きや形が様々でも、定義に当てはまれば、長方形や正方形といえることに気付くようにする。  ○辺の長さと、直角であることを確かめて、全員で正しいことを共有するようにする。  ○次回は、三角形について詳しく学ぶことを知らせ、期待を持たせる。 | 10  15  7  10  3 |

**3 備考**　在籍児童数　35名

**4 板書計画**

めあて　いろいろな長方形と正方形を書こう。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　かき方

　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

　　　　長方形　　　　　　　　　正方形　　　　　②

5cm 4cm

3cm 4cm

　直角　　　　　　　　　　　直角